

(別添) 技能の習得度試験についての留意事項について

- 技能の習得度試験において、記述式の設定を設定する場合には、以下の点に留意すること。
 - ・ 習得度試験の内容は、講習内容を習得したことを適切に把握できる内容の試験とすること。
 - ・ 設問内容として、学んだ技法の活用場면을問う設問を設定する場合は、単に、感想を聞くことに留まらないように具体的な活用場面や内容について言及することを必要とすること。
 - ・ 可能な限り客観的に習得状況を把握できるように、評価方法について以下の例なども参考にした上で工夫すること。

例1：ループリック評価を活用し、評価の観点と達成尺度についてマトリクス表を作成の上、受講者の回答内容について評価。

例2：講座内容の模範解答例を示し、キーワードとなる文言を記載。

キーワードとなる文言または同主旨の内容を受講者の回答内容にどの程度含んでいるかによって段階的に採点。